
災厄と希望と

石馬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

災厄と希望と

【Nコード】

N6326M

【作者名】

石馬

【あらすじ】

パンドラの匣を開けてはいけない、その理由は？

(前書き)

どうも、石馬と申します。

久しぶりに書いた短編で、至らぬところがあるかと思いますが、皆様の暇潰しになれば幸いです。

パンドラの匣は決して開けてはいけない匣なんだ。どうしても分かるかい？

父親は我が子である少女に尋ねました。
少女はブンブンと首を振って答えました。

わかんない。

父親は少女の小さな頭をなでながらやさしく教えてくれました。

パンドラの匣の中にはね、たくさんの災厄、つまり悪いことが入っているんだ。匣を開けてしまうとその悪いことが世界に飛び出して、世界を悪くさせてしまうんだよ。だから私たちは、パンドラの匣を決して開けてはいけないんだよ。分かったかい？

少女はうなずきました。そして、パンドラの匣は決して開けてはいけないものだと父親から学びました。

パンドラの匣は決して開けてはいけない匣なの、どうしてもそう言われているか分かる？

少女の母親が少女に尋ねました。少女は大きくうなずいて答えました。

わかるよ！ たくさんの“さいやく”がとびだして、せかいをわるくさせてしまうから！

少女はさきほど父親から言われたことをそのまま母親に言いました。

母親は少女の答えに一度うなずくと、また話しました。

ええ、みんなそう言っているわ。でも違うの、だってもうパンドラの匣の中には、災厄なんて入っていないんですもの。

母親の回答に、少女は首を傾げて言いました。

え？　なんで？　どうしてさいやくがはいつてないの？　みんなさいやくがはいつてるっていつていたよ？

少女の疑問に、母親は優しいな笑みをうかべて答えました。

だって、匣は一度開いてしまったんですもの。それを開けてしまった人の名前が『パンドラ』と言うのよ。パンドラが匣を開けたとき、中に入っていた災厄はすべて飛び出してしまったわ。……じゃあ、なんでパンドラの匣を開けてはいけないのかしら？

母親は質問しますが、少女は首を傾げたままです。

なんで？　ぜんぜんわかんないよ。

頬をリスのように膨らませて、ついに少女は不機嫌な顔をしてしまいました。そんな少女を母親は笑顔でなだめながら、こう言いました。

パンドラの匣にはね、災厄以外にももうひとつ別のものが入っていたのよ。それがあつたから、私たち人間はどんな災厄が起こっても諦めないで今日まで生きていけたの。

じゃあ、それはなに？

少女は母親にそう言いました。母親はその答えを、少女の耳元でソッとささやきました。

匣の中にはね、希望も入っていたのよ。

きぼづ？

母親の答えを、少女はそのまま口にしましたが、それが開けてはいけない理由になるのかどうか、よく分かっていますでした。

きぼづがでてくるのなら、はこをあけたほづがいいんじゃないの？

女の子のその質問に、母親は首を振りながら答えました。

そんなことないわ。

……だって一度出ていって無くなってしまったものは、もう二度と戻っては来ないのだから、匣を開けて希望を出すっていうのはそういうことなのよ。

少女は分かったような分からないような顔をして、一度だけ大きくうなずきました。

パンドラの匣、それは人々を苦しめる『災厄の入った匣』ではなく、人々が現在まで生きるために必要だった『希望が入った匣』だったのかもしれない。

(後書き)

如何でしたでしょうか？ありきたり？この話にはもっと深い意味が……そう思う方もいらっしゃるかもしれません。しかしこういう考えもアリだと、僕個人は思います。

人というのは、悪いことが起こるよりも、良いことが無くなってしまう方が後悔する動物、なのだとは僕は思いますから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6326m/>

災厄と希望と

2010年10月10日07時16分発行